

事務事業事後評価表

《基本情報》

事務事業の名称 【1】	広聴業務		担当課 【2】	秘書課						
			評価者(担当者)	山野 健一						
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	⑥みんなで進める協働のまちづくり					重点 施策 【4】			
	主要施策(節)	(4)情報公開の推進								
	施策区分							<input type="checkbox"/> 該当		
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	<input checked="" type="checkbox"/> 市長公約 <input type="checkbox"/> 新市建設計画【 <input type="checkbox"/> 法令、県・市条例等【 <input type="checkbox"/> その他の計画【]		年度予定	:	金額	千円【				
事業区分 【6】	<input checked="" type="checkbox"/> ソフト事業 <input type="checkbox"/> 義務的事業 <input type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input type="checkbox"/> 施設の維持管理事業 <input type="checkbox"/> 内部管理事務 <input type="checkbox"/> 計画等の策定事務									
会計区分 【7】	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別・企業会計【]		款	2	項	1	目	1	細目	8

《事務事業の目的》

事務事業の実施背景 (どのような問題又は ニーズがあるのか) 【8】	市民の市政に対する意見を的確に把握する必要がある。
対象(誰、何に対して) 【9】	市民
意図(どのような状態に したいのか) 【10】	市政に対して、市民の身近な意見を直接聴き、対話を通して相互に理解を深め、できるものから市の政策に反映させ市政の発展を目指す。

《事務事業の概要》

事業期間 【11】	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【 年度】 【 H22 年度から】 【 年度～ 年度まで】
事業主体 【12】	<input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> 県 <input checked="" type="checkbox"/> 市 <input checked="" type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> その他【]
実施方法 【13】	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助金等交付 <input type="checkbox"/> その他【]
事務事業の具体的内容 【14】	行政区を単位とした身近な座談会を開催し、本市の現状や将来に向けた施策等についての意見交換を行うことによって、できるものから市の政策に反映させ市政の発展を目指すもの。
	事務事業を構成する細事業 【15】 ⇒ ① 市長と語ろう座談会業務 ② ③ ④ ⑤

《事務事業実施に係るコスト》

		H23年度決算	H24年度決算	H25年度決算	H26年度予算	全体計画	
投入 コスト	事業費 (千円)	国庫支出金	%				
		県支出金	%				
		起債	%				
		受益者負担					
		その他					
		一般財源	100	48	45	228	
	【16】 小 計	100	48	45	228	0	
	[再掲]臨時・非常勤職員人件費(千円)	0	0	0	0		
	職人 員件 の費	職員人工数	2.00	1.20	1.20	1.20	
		職員の年間平均給与額(千円)	5,685	5,610	5,610	5,610	
【17】 小 計		11,370	6,732	6,732	6,732		
合 計		11,470	6,780	6,777	6,960		

《事務事業の手段と活動指標》【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H23実績	H24実績	H25実績	H26計画
① 市長と語る座談会業務	市長と語る座談会の開催	開催回数	回	9	2	2	20
②							
③							
④							
⑤							

《事務事業の成果》【19】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H23目標	H24目標	H25目標	H26目標
			H23実績	H24実績	H25実績	
1 市民との意見交換数	座談会意見交換テーマ数	テーマ	80	80	80	80
			51	20	8	
2						

《事務事業の評価》

評価項目	評価の視点	評価	評価の説明
妥当性 (判定) A	実施主体の妥当性 【20】 市の実施すべき事業か。また、民間やNPO等他の団体では実施できない事業か。	<input type="checkbox"/> 問題あり <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし	市民の意見を市の政策に反映させる機会が減少する。 市民と行政が直接話し合う場がなくなることは、共通認識のもとでの市政運営ができなくなる恐れがあります。
	目的の妥当性 【21】 税金を使って達成する目的か。また、役割が薄れていないか。	<input type="checkbox"/> 問題あり <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし	
	廃止・休止の影響 【22】 事業を止めた場合、受益者に不利益が生じる等の影響があるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響あり <input type="checkbox"/> 影響なし	
有効性 (判定) C	目標の達成度 【23】 成果指標の目標値は達成できたか。	<input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> 未達成	開催申請が少なかったため目標を達成することができなかった。 テーマを選択し易くすることにより開催申請数の増加につなげるために、意見交換のテーマなどを具体的にメニュー化することが可能かどうかを検討する余地がある。
	成果向上の余地 【24】 成果がもっと上がる余地はないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地あり <input type="checkbox"/> 余地なし	
	上位施策への貢献度 【25】 上位施策の目的達成に貢献しているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 十分 <input type="checkbox"/> 不十分	
効率性 (判定) A	コスト低減の余地 【26】 コストの低減について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	民間の活用の余地 【27】 民間委託など民間活力の活用について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	執行方法改善の余地 【28】 事務事業の執行上、簡素化又は改善できるプロセスはないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	事業統合の余地 【29】 類似する他の事務事業との統合について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
公平性	受益者負担の余地 【30】 受益者負担について、これ以上検討の余地はないか。また、対象、負担額等は適切か。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	

《今後の方向性と改善》

今後の方向性 【31】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小を検討 <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討 <input checked="" type="checkbox"/> 細事業の効率化【 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 民間活用 <input type="checkbox"/> 他事業と統合 <input type="checkbox"/> 廃止 】
判断理由及び見直し・改善の具体的内容	意見交換のテーマなどを具体的にメニュー化することで、申請者に分かりやすい座談会内容を提示し開催の増加を図る。
昨年からの見直し・改善状況 【32】	特になし

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【33】	この座談会は、チェンジ玉名に掲げられた事業である。市民が将来の玉名市に何を望み、どういう想いを抱いているのか意見交換を通して知ることにより、できるものから今後の市の政策に反映させようとするものである。今後も継続して実施していきたい。	評価責任者 酒井史浩
----------------------	--	---------------